

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 1 年 12 月 26 日 (2019.12.26)

【公開番号】特開 2018-80270 (P2018-80270A)

【公開日】平成 30 年 5 月 24 日 (2018.5.24)

【年通号数】公開・登録公報 2018-019

【出願番号】特願 2016-223834 (P2016-223834)

【国際特許分類】

C 0 8 F 20/56 (2006.01)

C 0 8 F 2/44 (2006.01)

G 0 1 N 31/00 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2018.01)

【F I】

C 0 8 F 20/56

C 0 8 F 2/44 B

G 0 1 N 31/00 V

C 1 2 Q 1/68 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 11 月 15 日 (2019.11.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

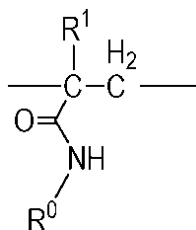
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記構造式 1 で表わされる繰り返し単位を有する重合体であって、

【化 1】



1

前記重合体において、

一部の R^0 は、2 つの R^0 で一組となって架橋構造である 2 価の基 R^2 を形成し、

前記 2 価の基 R^2 を形成しない R^0 は、1 価の基 R^3 であり、

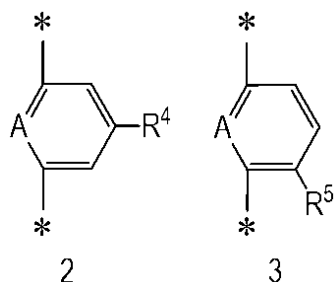
R^2 は、炭素数 1 から 20 の直鎖または環状の脂肪族炭化水素基、置換基を有してよい芳香族基、またはヘテロ芳香族基であり、

R^1 は、メチル基または、水素原子である重合体。

【請求項 2】

R^2 が、下記構造式 2 または下記構造式 3 で表わされる請求項 1 に記載の重合体。

【化 2】

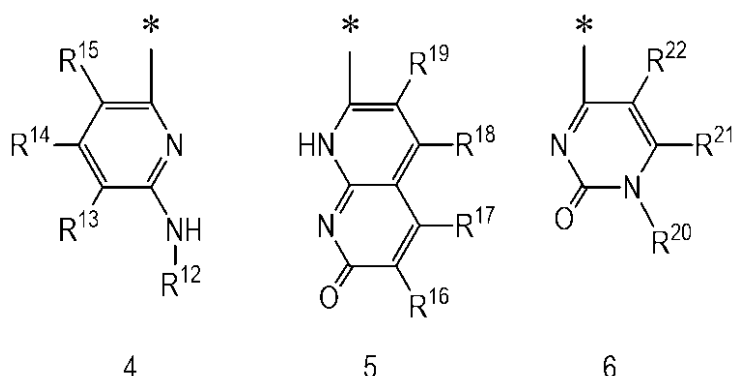


(前記構造式 2 及び前記構造式 3 において、 R^4 及び R^5 は、アルコキシ基、アルキルスルホニル基、アルキルカルボニルアミノ基、アルキルアミノカルボニル基、アルキルカルボニルオキシ基、アルキルオキシカルボニル基、及びアルキルチオ基のいずれかの炭素数 1 から 20 の基であり、A は窒素原子または水素原子が一つ結合した炭素原子である、ただし、 R^4 及び R^5 中の炭素原子に結合した水素原子はハロゲン原子で置換されていてもよく、* は前記構造式 1 における NH の位置を示す。)

【請求項 3】

R^3 が下記構造式 4、下記構造式 5、及び下記構造式 6 のいずれか 1 つの構造で表わされる請求項 1 または 2 に記載の重合体。

【化 3】

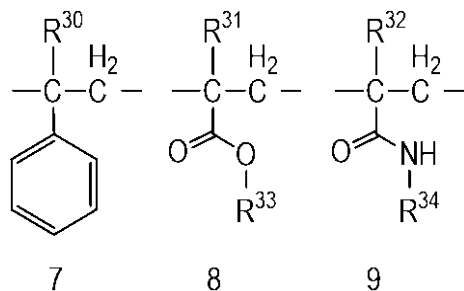


(前記構造式 4、前記構造式 5 および前記構造式 6 において、 R^{12} 及び R^{20} は、水素原子、または、飽和または不飽和の炭化水素基であり、 R^{13} から R^{19} 、 R^{21} 及び R^{22} は各々独立に、水素原子、ニトロ基、ハロゲン原子、または、飽和または不飽和の炭化水素基であり、* は前記構造式 1 における NH の位置を示す。)

【請求項 4】

下記構造式 7、下記構造式 8 および下記構造式 9 の少なくともいずれか 1 つで表わされる繰り返し構造をさらに有する請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の重合体。

【化 4】



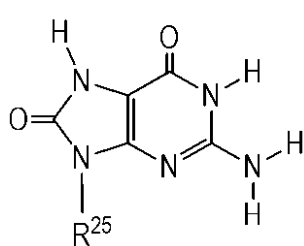
(前記構造式 7、前記構造式 8 及び前記構造式 9 において、 R^{30} から R^{32} は、水素原子またはメチル基を示し、 R^{33} 及び R^{34} は、水素原子、または、飽和または不飽和の炭化水素基である。)

【請求項 5】

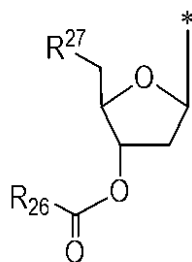
下記構造式 10 で表わされる化合物の存在下で重合して得られる請求項 1 から 4 のい

れか 1 項に記載の重合体。

【化 5】



10



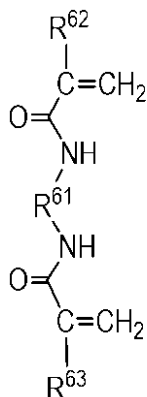
11

(前記構造式 10 において、 R^{25} は炭素数 1 から 18 の脂肪族炭化水素基、または構造式 11 で表わされ、前記構造式 11 において、 R^{26} は炭素数 1 から 18 の脂肪族炭化水素基であり、 R^{27} は、ヒドロキシル基、または炭素数 1 から 16 のアルキルカルボニルオキシ基であり、* は前記構造式 10 における R^{25} と結合した窒素原子の位置を示す。)

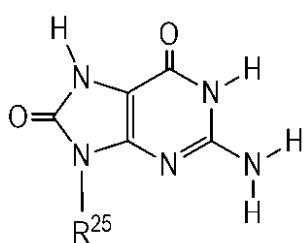
【請求項 6】

下記構造式 12 で表わされる化合物を、下記構造式 10 で表わされる化合物の存在下で重合して得られる請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の重合体。

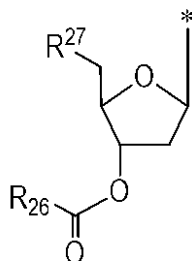
【化 6】



12



10



11

(前記構造式 12 において、 R^{61} は、炭素数 1 から 20 の直鎖または環状の脂肪族炭化水素基、置換基を有してよい芳香族基、またはヘテロ芳香族基のいずれかであり、 R^{62} 及び R^{63} は各々独立に、メチル基または、水素原子であり、

前記構造式 10 において、 R^{25} は炭素数 1 から 18 の脂肪族炭化水素基、または上記構造式 11 で表わされ、前記構造式 11 において、 R^{26} は炭素数 1 から 18 の脂肪族炭化水素基であり、 R^{27} は、ヒドロキシル基、または炭素数 1 から 16 のアルキルカルボニルオキシ基であり、* は前記構造式 10 における R^{25} と結合した窒素原子の位置を示す。)

【請求項 7】

R^{6 1} が、置換基を有してよい芳香族基である請求項 6 に記載の重合体。

【請求項 8】

R^{2 7} が、炭素数 1 から 16 のアルキルカルボニルオキシ基である請求項 5 から 7 のいずれか 1 項に記載の重合体。

【請求項 9】

8 - オキソ - 2' - デオキシグアノシンの検出に用いられる、請求項 1 から 8 のいずれか 1 項に記載の重合体。